



世界農業遺産認定承認に向けた2次審査の会場の様子

農産物の更なるブランド化、観光客の誘客につなげて参ります。林業の振興については、令和2年度から実施してきた航空レーザ計測による森林資源と詳細地形データの整備が、令和3年度に完了する見込みであり、県内では先進的な取り組みであり、これらデータを有効に活用していくため、地元森林組合や森林管理局等と連携を図って参ります。

特用林産物としての椎茸・舞茸などキノコ類の生産については、近年は市場価格の大幅な下落や新品種の栽培不振などの影響により、町内の椎茸産業は大きな岐路に立っております。現在、コンサルティング会社、金融機関とともに経営改善に向けた取り組みを実施しています。

商工業の振興については、人口減少による地域内需要の減少や社会構造の変化などにより、商工業を取り巻く状況は厳しくなっております。こうした状況に対応するため、商工会が策定する経営発

達支援計画に基づく伴走型支援が円滑に推進されるよう連携して参ります。

また、商工業のあらゆる業種で後継者不足が危惧されています。地域産業や地域社会の活力を維持するためにも、事業承継の取り組みを進める必要があります。

起業創業については、「古民家オフィスみらいと奥出雲」の提供や、新たに起業に取り組まれる方へのセミナーをはじめ、個別相談を行うて参ります。

観光振興については、SNSを中心に情報発信し、町の魅力を大勢の観光客に感じて頂くよう取り組んでいます。また、イベントについては、その多くが中止または縮小となっておりますが、感染症の状況を注視しながら再開に向け、関係団体と協議を進めていく考えです。

サイクリングターミナルについては、施設が老朽化してきているため、大規模改修を実施します。併せて、スポーツ合宿やビジネス、少人数でのご利用などにも対応できるように改修し、宿泊者の受け入れ態勢の強化を図ります。

町営三井野原スキー



三井野原スキー場の様子

療介護ネットワーク」を立ち上げました。急速に進む高齢化・過疎化に伴い、現在の医療・介護体制の維持が困難になることが予想される中、関係者間の連携によるオール奥出雲で実効性のある対策に取り組むものです。引き続き医療と介護が有機的につながる地域包括ケアシステムの構築を目指して取り組んで参ります。

福祉の充実については、新たに人工透析医療通院送迎支援を実施することとしました。送迎サービスを実施している雲南圏域の医療機関に対し、送迎に係る費用の一部を助成します。

9. 教育、スポーツ、文化振興

小学校再編については、「子ども同士が学び合える学級規模を確保することがこれからの子どもたちの教育環境に最も必要」との考えに基づき、令和4年3月末を校区の意向とりまとめ期限とし、昨年11月から校区別協議会の立ち上げに向けた準備会開催及び協議再開を行うて参ります。

横田高校の魅力化については、横田高校生と地域住民とをつなぎ、高校生を取り入れて地域課題の更なる解決を図ることを目的に、奥出雲町地域学習拠点施設を整備しました。

GIGAスクールの実施については、端末機器の有効的な活用が

リフト事業については、昭和45年から運行していましたが、スキー客の減少や昨今の暖冬化などにより、終了することとなりました。これまで三井野地区の皆様には、長年にわたりご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

6. 地域振興・定住対策

サイクリングターミナル内で移住・定住及び無料職業紹介などの支援を行っている「まち・ひと・しごとセンター」については、施設の改修に伴い、役場仁多庁舎の地域づくり推進課内に移転統合します。

特定地域づくり事業については、「奥出雲町特定地域づくり事業協同組合」を設立し、令和3年度当初より派遣事業がスタートできるよう進めています。町内事業所の担い手不足を解消するとともに、地域住民やUターンの方々が町に長く住み続けるための雇用の場にして参りたいと考えています。

住宅整備支援事業については、子育て世代の転出防止とUターンの促進のため、令和元年度から実施しています。本事業により定住促進だけでなく、住宅投資による地域経済への波及効果などにも一定の効果があるものと考えています。

また、民間の資本による集合住宅施設の建設費を支援する制度を

図られるよう、教職員向けの研修会や活用事例の情報提供を行うとともに、運用上の課題を学校現場と連携して解決し、児童生徒の学びが深まるよう取り組んで参ります。

スポーツ振興については、各地区のスポーツ推進委員の皆様やスポーツ関係団体の皆様の協力を頂きながら、健康づくりの推進と地域の絆を深める各種スポーツの振興に取り組んで参ります。

東京オリンピックパラリンピック競技大会におけるインドホッケーチームの事前キャンプ誘致については、新型コロナウイルス感染症拡大の中、国が示す感染防止対策に沿った受入れ体制を整えることが極めて困難であること、第一の目的である町民の方々との交流事業を実施することができない状況であることなどから、インドホッケーチームの事前キャンプ誘致は、断念することとしました。

文化振興については、文化協会や各文化芸術団体の皆様には感染防止対策を図りながら活動して頂いており、引き続き感染防止対策を行いながら、文化活動を通じて、町民一人ひとりが豊かな人間性を涵養し、創造力や感性を育み、人間らしく生きることが実感できるよう取り組んで参ります。

新たに設けました。

木次線の利活用については、昨年10月に丸山知事にご乗車頂き、木次線の重要性を再認識して頂きました。県においても、利用促進やツアリの造成など乗客増加に直結する支援施策を行うて頂くこととなり、三井野原駅に下車する丸山知事



三井野原駅に下車する丸山知事

7. 結婚、出産、子育て

結婚支援については、本町における少子化対策の重要課題の一つです。奥出雲町縁結びネットワーク協議会の支援団体、結婚子育てコンシェルジュや地域サポーターと連携し、個別のマッチング支援のほかイベントなどの出合いの場の提供に引き続き取り組んで参ります。

妊娠、出産支援については、町立奥出雲病院での分娩の取り扱いを3月から止む無く休止することとなりました。外来診療や助産師外来、妊婦検診は継続して行つて参りますが、出産は、町外医療機関で行つて頂くこととなります。このため、新たに妊産婦健康診査交通費助成事業を創設し、経済的な支援を行つて参ります。

10. 消防・防災対策

消防関係については、令和3年度も引き続き消防団の機動力維持のため、小型ポンプ付き軽積載車の更新を行います。耐震性防火貯水槽についても、設置に向けた測量調査設計を実施致します。防災対策については、「自主防災組織」の育成、防災のリーダー的存在である「防災士の養成と育成を推進し、防災研修や訓練などを実施して地域防災力の向上を図つて参ります。



令和2年度に更新した小型ポンプ付き軽積載車

11. 町議会議員選挙

町議会議員一般選挙については、町議会議員の皆様が任期が4月30日で満了となるため、投票票を4月18日に執行することとしております。

引き続き、町政運営へのご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

子育て支援については、休園中の鳥上幼児園を活用した屋内型子ども遊び場を開催しました。参加者に対してアンケートを実施し、頂いた意見を参考に、子育て世代が子どもと触れ合う場、親同士の交流の場となるよう事業を継続して参ります。



屋内型子ども遊び場の様子

8. 医療と介護、福祉の充実

町立奥出雲病院の長年の懸案である医師確保につきまして、4月より新たに3名の常勤医師の確保に目途がつかしました。これにより外来や入院診療の充実、介護医療院の運営の他、病院が訪問看護ステーションを運営することで、開業医の先生方と連携しながら在宅医療に力を入れて参ります。

今後は、雲南市立病院との連携を深め、地域医療連携推進法人を設立し、機能分担や感染症対策を共同して取り組んで参ります。

令和2年度から、町内全介護事業者及び町立奥出雲病院、社会福祉協議会、島根リハビリテーション学院にご参加頂き「奥出雲町医